

変わらぬ軽快さ 使い勝手を向上

紙面の拡大表示は、最大で400%になった。美しく拡大される。縦横自動判別拡張に加え、200%・400%表示にも一発で切り替えが可能。指定ボタンは、通常のドロップダウンのほか、クリックで次々と切り替わる回転式。右クリックで逆回転する。

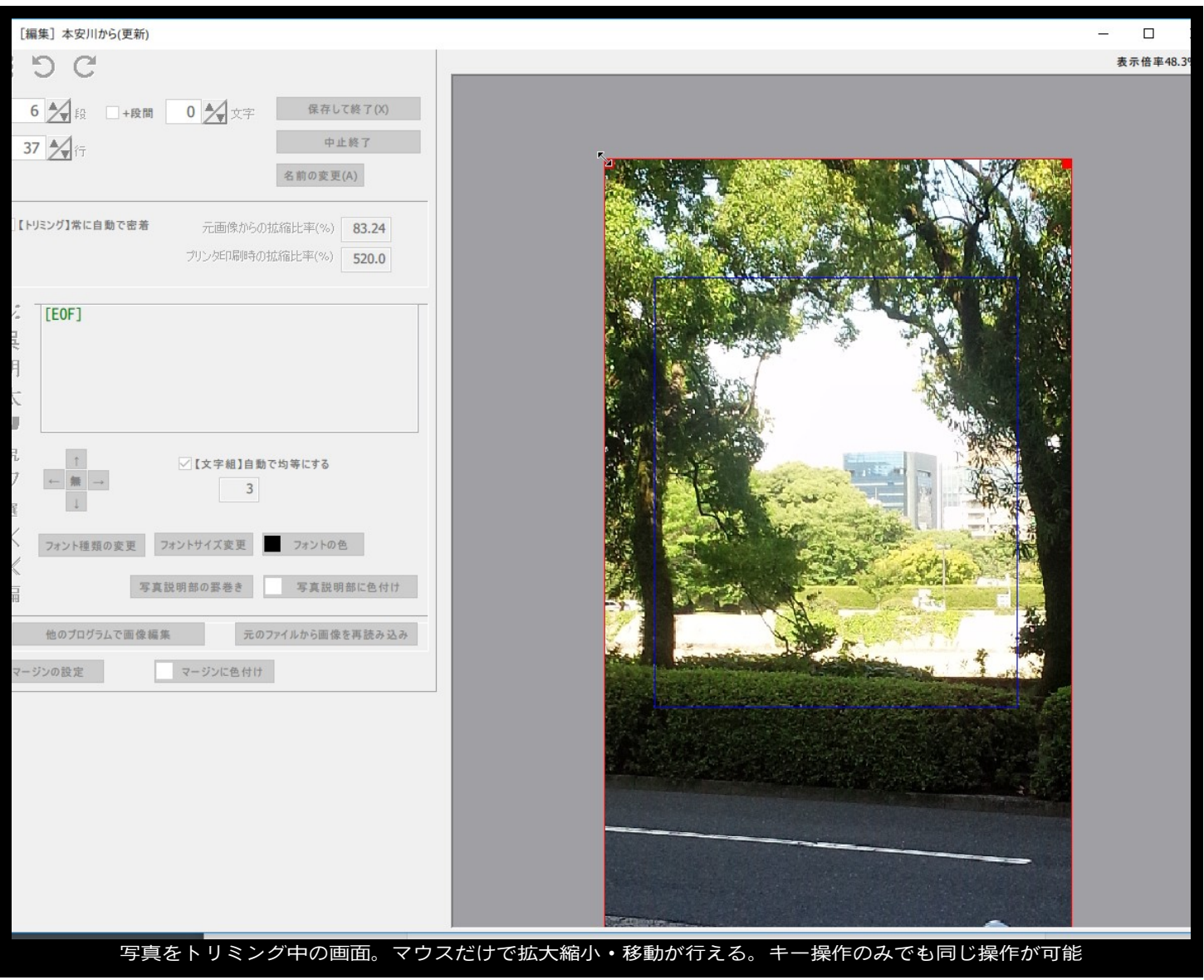
最大400% 美しく拡大

紙面の拡大表示は、最大で400%になった。美しく拡大される。縦横自動判別拡張に加え、200%・400%表示にも一発で切り替えが可能。指定ボタンは、通常のドロップダウンのほか、クリックで次々と切り替わる回転式。右クリックで逆回転する。

何度でもやり直し

リンドウ 主要画面で実装

【アンドウ・リンドウ 直進化】 失敗操作を取り消す「アンドウ」の機能を元に戻すリンドウ機能。メインのアウト画面でももちろん、紙面を元に戻してやり直し。何度でも試行錯誤を繰り返すことができる。



写真をトリミング中の画面。マウスだけで拡大縮小・移動が行える。キー操作のみでも同じ操作が可能

配置や移動手軽に

マウスでもキーでも

■キーで前後左右に紙面上での素材は従来の通りウインドウで移動できるが矢印キーでも移動可能。段方向(縦組み紙面なら上下)はCtrlキーと同時に押すことで文字単位で移動する。

■縦横一気には縮小 見出しや画像の紙面上での直接拡張は以前は縦横それぞれ行う必要があったが、一気に拡張可能になった。たとえば見出しの左下をドック

画像編集画面では、PCにインストールされた好みの画像編集ソフトを呼び出して、編集結果を即座に反映する。色調整やサイズ変更など、事前に準備していないことも、このソフト上からの操作で完結する。編集結果は、取り込み元の画像には影響を与えないので、失敗しても読み込み直せる。

紙面素材表示 グルーピング 素材リストは大きく進化。グルーピングにより、記事の見出し・写真類をひとりのグループとしてまとめる。複数の記事を配置する、あるいは元の素材を再度配置する場合に便利。

抱え畳み・置き流し… 記事の見出しを一度に配置する「抱え畳み」など、新聞組版の基本機能もバリエーションアップした。記事・見出し・写真の3種類を一度に配置するなど

野線は13種類 好みのカラーに 野線は、細線や二本線、点線などあらゆる13種類のパターンを準備した。それぞれ好みの色も付けられる。

画像の対応種類は以前のBMP、JPEGに加え、PNG、GIF画像が加わった。

PNGやベクタ画像

■E.M.F.は、市販の高機能DTPソフトウェアでも作成・編集できる。E.M.F.は、市販の高機能DTPソフトウェアでも作成・編集できる。E.M.F.は、市販の高機能DTPソフトウェアでも作成・編集できる。

ルビ 用途で使い分け

右の例のように、複数の文字にルビを振った場合、まとめて漢字とルビが対応しない。ただ組版の体裁としては美しく、本文が読みやすい。こちらが標準の方法だ。

文字やゴシック等の文字 主なタグにはCtrl+Bで修飾には、HTMLに似たタグを採用。自分でブログやホームページを作っている人には馴染みやすいと思われる。

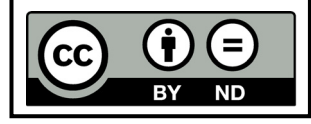
太字 HTML風

の一部を太字にする場合は太字にする文字とHTMLと全く同じにすればよい。ゴシックなら<g>呉竹にする文字</g>とする。

「禁じ手」色付け警告

「泣き別れ」も避けなくてはならない。つまり、ある段落が段の先頭から始まっている場合、どちらの記事の続きか分からない流し方だ。これは意図せず起こるが、やはり色付けされる。また記事が紙面に入りきらない「記事あふれ(オーバーフロー)」ではあふれた行数分が赤く表示される。旧版では記事全体が赤くなっていたが、この点からふたつになった。

このPDFは営利非営利問わず自由に使用できます。改変は不可です。詳しくはCC3.0を参照



トでは、過去5回分まで履歴を遡ることができる。紙面データを保存したフォルダ内に「リンドウ」フォルダを自動生成するため、特に指定しなくてもバックアップされていく。

■お手軽スペースキー レイアウト紙面上で素材や空白部分を選んで「実行」ボタン。これがこのソフトの最も基本的な操作だが、実行ボタンまでいちいちマウスを持って行かなくても、実はスペースキーで代

用できる。このため、マウスと併用すると快適で素早い操作が可能となる。

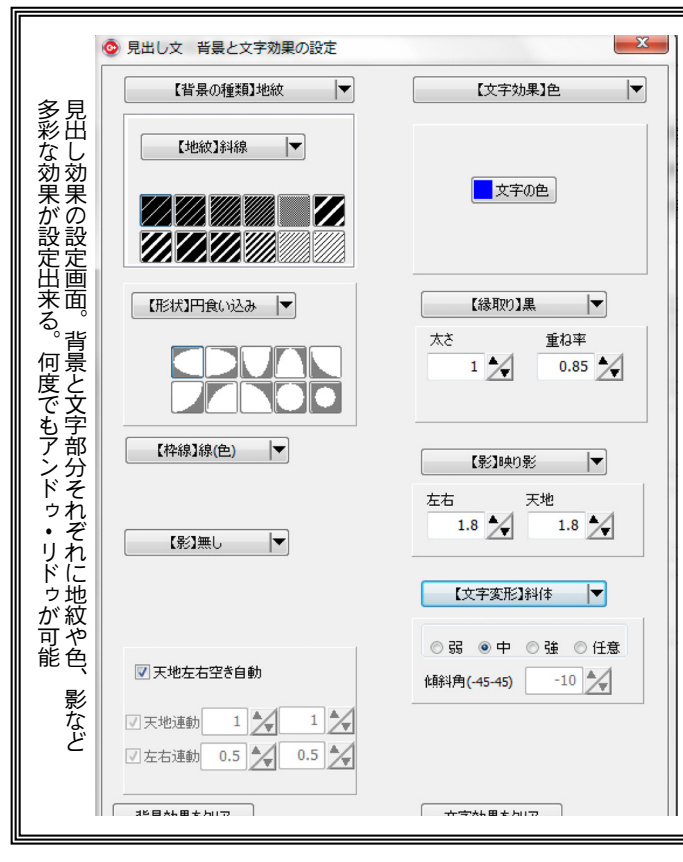
■素材グルーピング 見出しや記事等は、一つのボックスに表示するように変更。種別ごとにアイコンが付く。

素材のグルーピング分けにも対応。いちいち「〇〇の記事」など名前を付けなくても、グルーピング素材をまとめておけば、フォルダの名前でも迷わないだろう。

文字効果を追加

見出しの各種効果がパワーアップした。地紋や色付けのほか、グラデーション効果が追加された。斜体には任意の角度を付けることも出来る。グラデーション効果は背景にも文字にも付けられる。方向も左右・天地から計4種類。地紋も縦線・横線・斜線・渦といった一般的なパターンを準備。ただし近年の新聞の「地紋離れ」を反映して種類は旧版とあまり変わらない。地紋の形状も四角や楕円のほか、台形、円の食い込みなどをパターンから選べる。

グラデーションや任意の斜体



紙面素材表示

グルーピング 素材リストは大きく進化。グルーピングにより、記事の見出し・写真類をひとりのグループとしてまとめる。複数の記事を配置する、あるいは元の素材を再度配置する場合に便利。

野線は13種類 好みのカラーに 野線は、細線や二本線、点線などあらゆる13種類のパターンを準備した。それぞれ好みの色も付けられる。

ワープロ等で一般的な単位ポイント(Pt)だけでなくミリ、さらに新聞業界で使われる「倍」「U」「ミルス」も使用可能になった。明治以来の日本の新聞の伝統的単位である「倍」は

「倍」基本 U・ミルスも

1000分の884、Uはその8分の1。つまり1倍=8Uとなる。ミルスは1000分の1。ただしソフト上では「倍」は紙面の記事サイズとの比率を指す単位として使う。

見出しパターン用意

出は文字数制限が厳しく、慣れない場合は文字数を合わせるのにはなかなか大変。厳しい文字制限の中で日々、見出しをひねり出す編集記者の気持を味わうのも一興かも。もちろん、文字数が減らせられない場合は、文字サイズを小さくすればよい。

箱組も同様。大きさに合わせて基本的なパターンを準備。形が決まっている場合は、面倒な紙面設定抜きでいきなり編集に入れる。